

# 桜島周辺の地殻変動

## Crustal Deformations around Sakurajima Volcano

国土地理院  
Geospatial Information Authority of Japan

第1図から第3図は、桜島周辺におけるGNSS連続観測結果である。

第1図上段に基線の配置を、下段に各観測局の保守履歴を示した。

第2-1図及び第2-2図上段は、第1図に示した基線の基線長変化グラフで、左列は最近約5年間(2014年1月～2019年2月)の時系列、右列は最近約1年間(2018年1月～2019年2月)の時系列である。第2-2図中段は、桜島周辺の基線の配置、下段は「樋脇」の保守履歴を示した。第2-3図は第2-2図中段に示した基線の比高変化グラフである。鹿児島(錦江)湾を挟む基線での伸びは停滞している。桜島島内の基線は2018年3月頃からの伸びの傾向が鈍化し、5月頃から停滞している。

第3図は、南九州地方及び桜島周辺のGNSS観測点における変動ベクトル図であり、上段に最近3か月間(2018年10月～2019年2月)を、下段に最近1年間(2018年1月～2019年1月)を示した。「樋脇」を固定局としている。第3-1図は南九州地方の水平変動ベクトル図、第3-2図及び第3-3図はそれぞれ桜島周辺の水平変動ベクトル図、上下変動ベクトル図である。

第4図は「だいち2号」のSAR干渉解析結果である。ノイズレベルを超える変動は見られない。

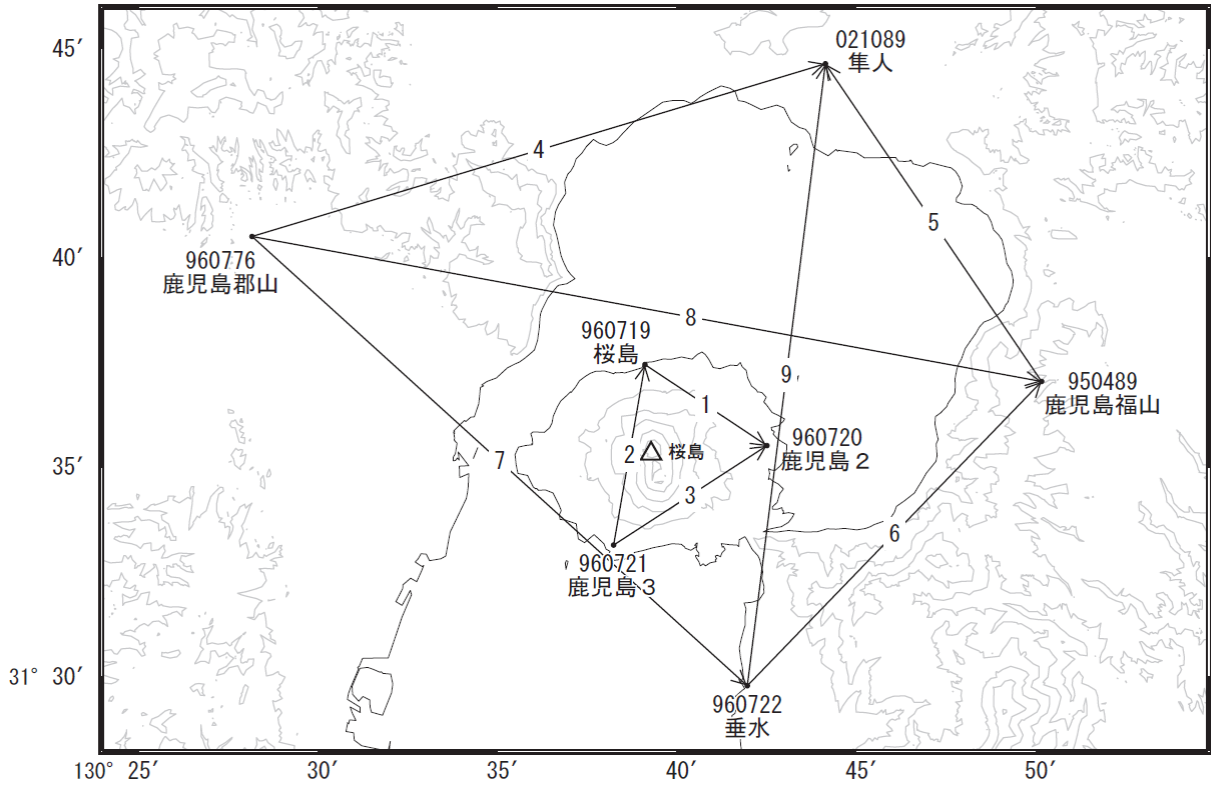
第5図は、GNSS観測データに基づき、時間依存のインバージョン手法により桜島島内の変動源を茂木ソース1、始良カルデラの変動源を茂木ソース2と仮定して体積の増減を時系列的に推定した結果である。上段は推定に用いた観測点の配置と変動源の位置図で、下段は推定された体積増減の時系列である。桜島島内の変動源(茂木ソース1)は、2012年初め頃から反転して収縮傾向となっていたが、2014年初め頃から再び膨張傾向に転じている。始良カルデラの変動源(茂木ソース2)は膨張が継続している。

第6図及び第7図は、推定された各観測点の地殻変動(計算値)と観測値の比較であり、第6-1図及び第6-2図は時系列グラフ、第7図はベクトル図である。このモデルから推定した計算値は比較的よく再現されている。なお、960720「鹿児島2」の上下変動の計算値は観測値と系統的にずれているが、この観測点は昭和(1946年)溶岩流の上であり、局所的な圧密沈下を反映していることが原因と考えられる。

### 謝辞

ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

桜島周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図(1)

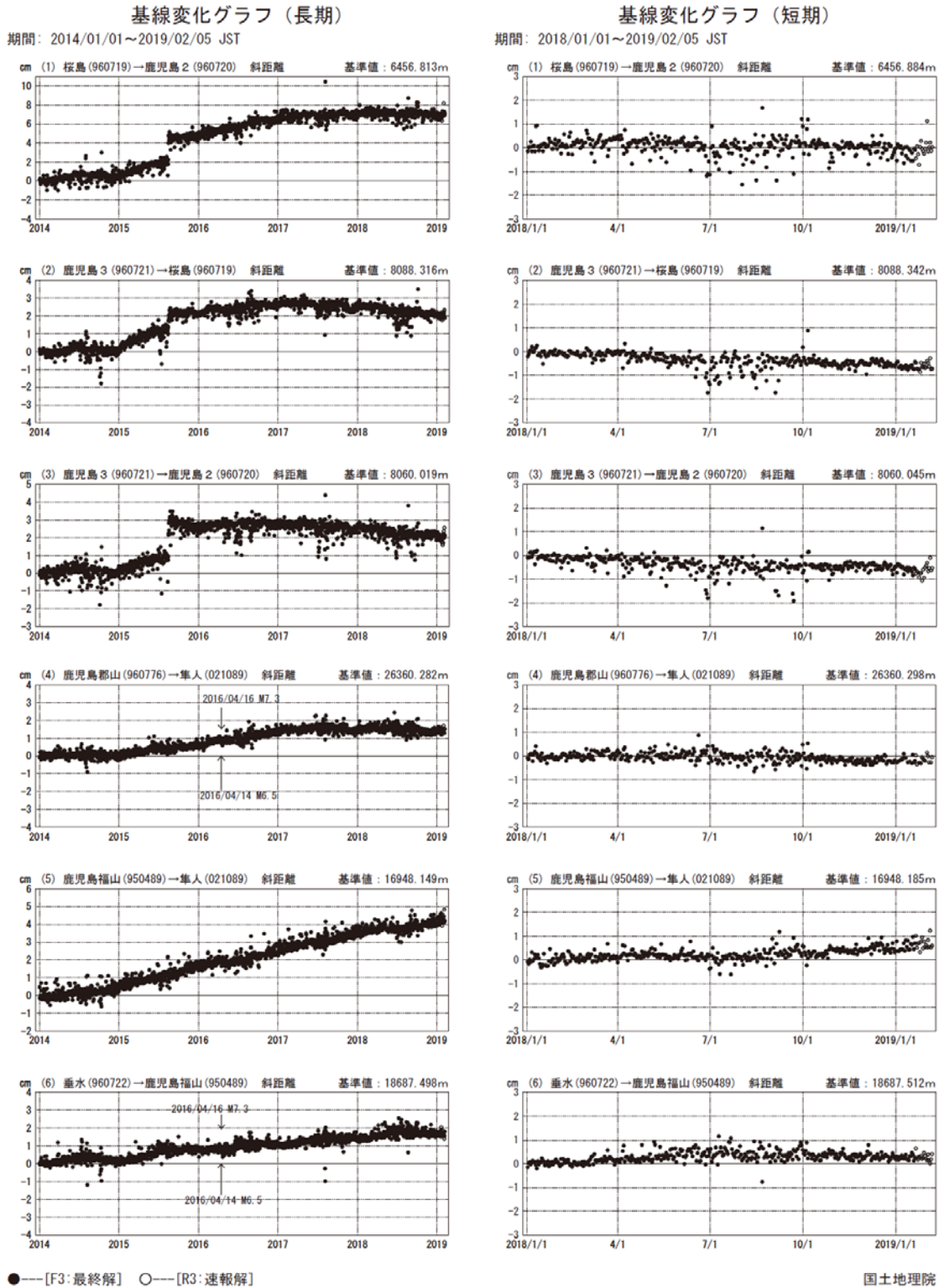


桜島周辺の各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
960719	桜島	20170118	受信機交換
960720	鹿児島2	20170118	受信機交換
960721	鹿児島3	20170118	受信機交換
960722	垂水	20160104	アンテナ交換
021089	隼人	20170131	アンテナ交換

第1図 桜島周辺のGNSS連続観測基線図(上段)と観測局の保守履歴(下段)

Fig.1 (upper) Site location map of the GNSS continuous observation network around Sakurajima Volcano; (lower) History of site maintenance.

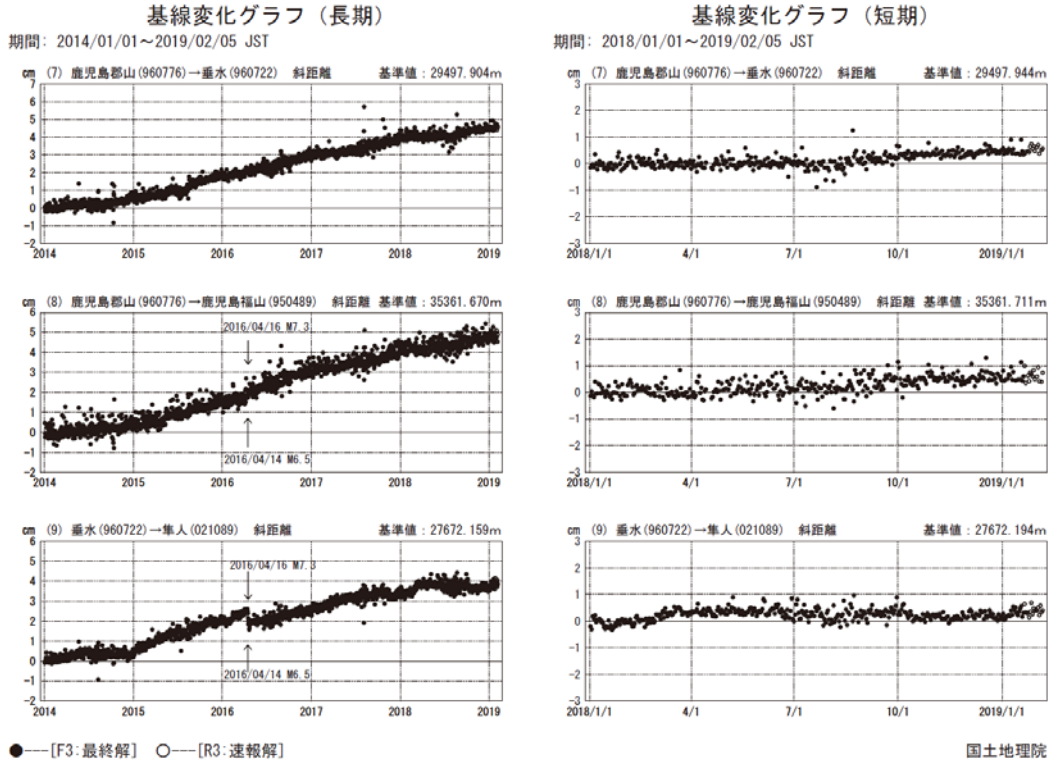


※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

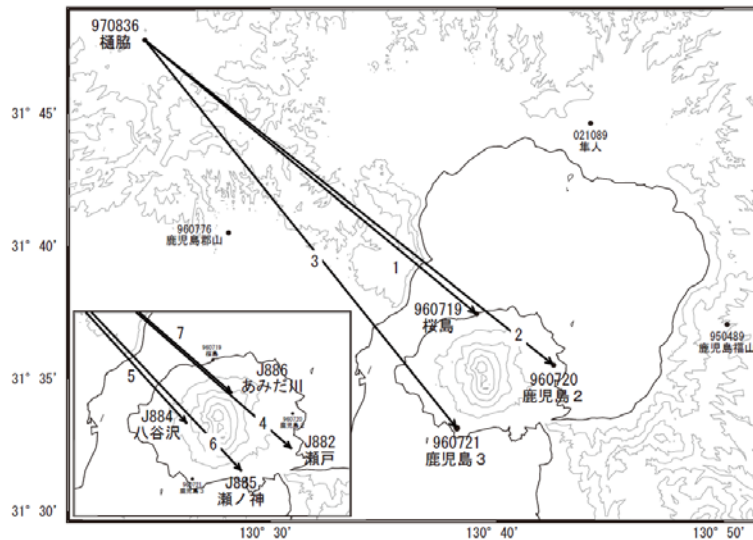
第2-1図 桜島周辺のGNSS連続観測による基線変化グラフ

(左列：2014年1月～2019年2月、右列：2018年1月～2019年2月)

Fig.2-1 Time series of baseline length by continuous GNSS observation around Sakurajima Volcano; (left) from January 2014 to February 2019, (right) from January 2018 to February 2019.



桜島周辺GEONET (電子基準点等)による連続観測基線図(2)



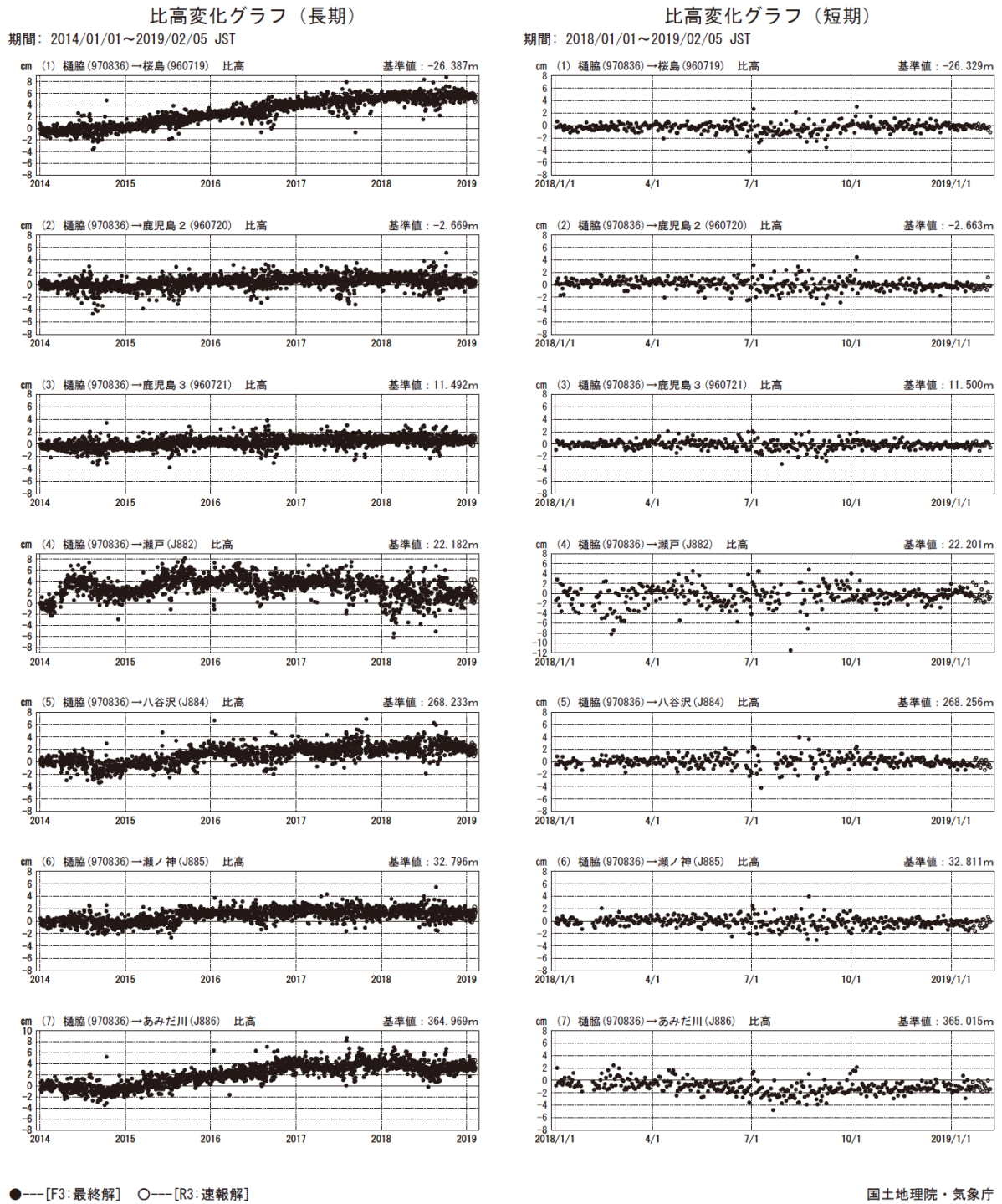
桜島周辺の各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
970836	桜島	20180123	受信機交換

※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第2-2図 (上段) 桜島周辺のGNSS連続観測による基線変化グラフ  
(上左列: 2014年1月~2019年2月、上右列: 2018年1月~2019年2月)  
桜島周辺のGNSS連続観測基線図(中段)と観測局の保守履歴(下段)

Fig.2-2 (upper) Time series of baseline length by continuous GNSS observation around Sakurajima Volcano. (upper left) from January 2014 to February 2019, (upper right) from January 2018 to February 2019; (middle) Site location map; (lower) History of site maintenance;



※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第2-3図 桜島周辺のGNSS連続観測結果

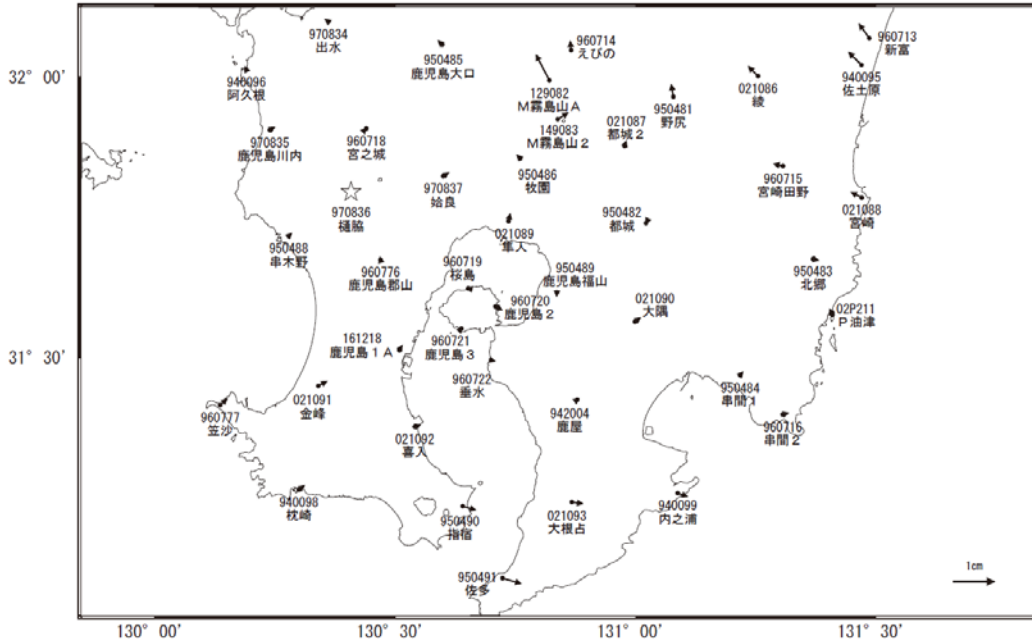
(比高：左列 2014年1月～2019年2月、右列 2018年1月～2019年2月)

Fig.2-3 Results of continuous GNSS observation around Sakurajima Volcano;

Time series of relative height (left) January 2014 to February 2019, (right) from January 2018 to February 2019.

南九州地方の地殻変動(水平:3か月)

基準期間:2018/10/27~2018/11/05[F3:最終解]  
比較期間:2019/01/27~2019/02/05[R3:速報解]

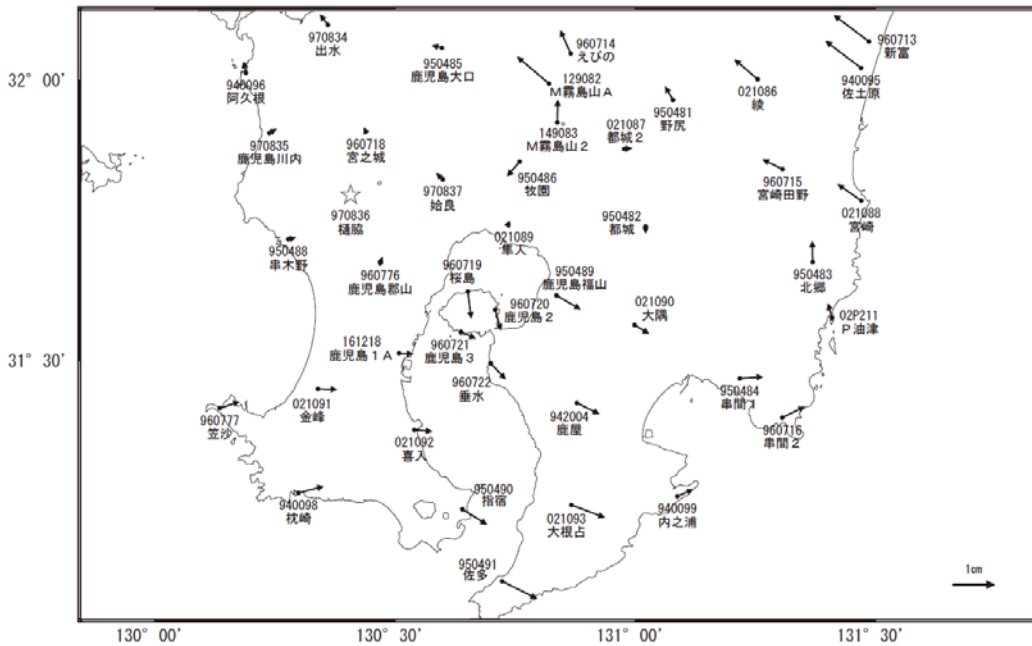


☆ 固定局:橿原(970836)

国土地理院

南九州地方の地殻変動(水平:1年)

基準期間:2018/01/27~2018/02/05[F3:最終解]  
比較期間:2019/01/27~2019/02/05[R3:速報解]



☆ 固定局:橿原(970836)

国土地理院

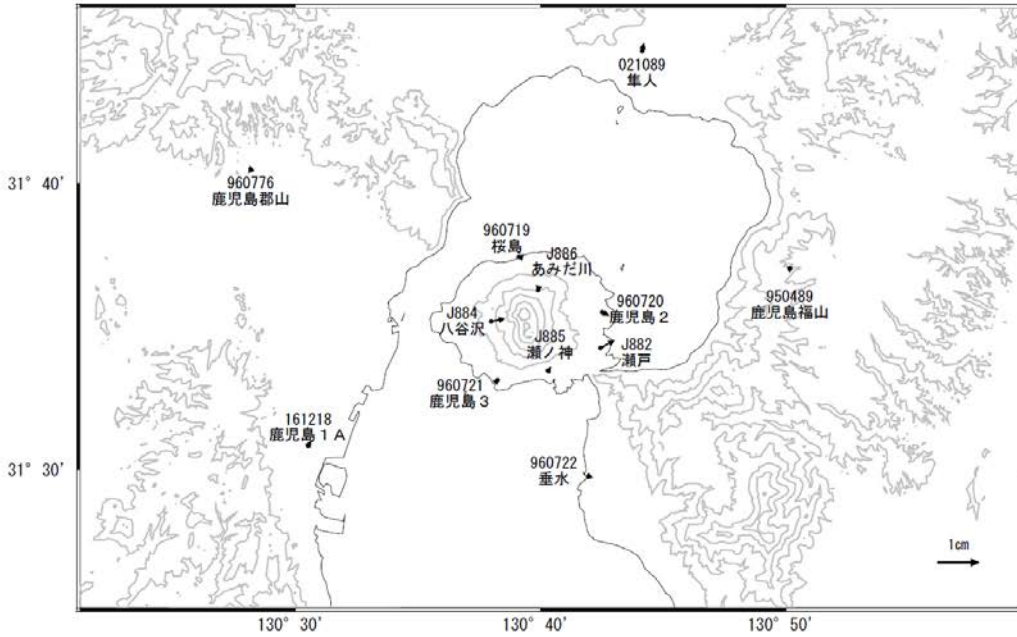
第3-1図 南九州地方におけるGNSS観測点の水平変動ベクトル図

(上段:2018年10月~2019年2月、下段:2018年1月~2019年2月)

Fig.3-1 Horizontal displacements of GNSS stations around Southern Kyushu around Sakurajima Volcano; (upper) from October 2018 to February 2019, (lower) from January 2018 to February 2019.

桜島周辺の地殻変動(水平:3か月)

基準期間:2018/10/27~2018/11/05[F3:最終解]  
比較期間:2019/01/27~2019/02/05[R3:速報解]

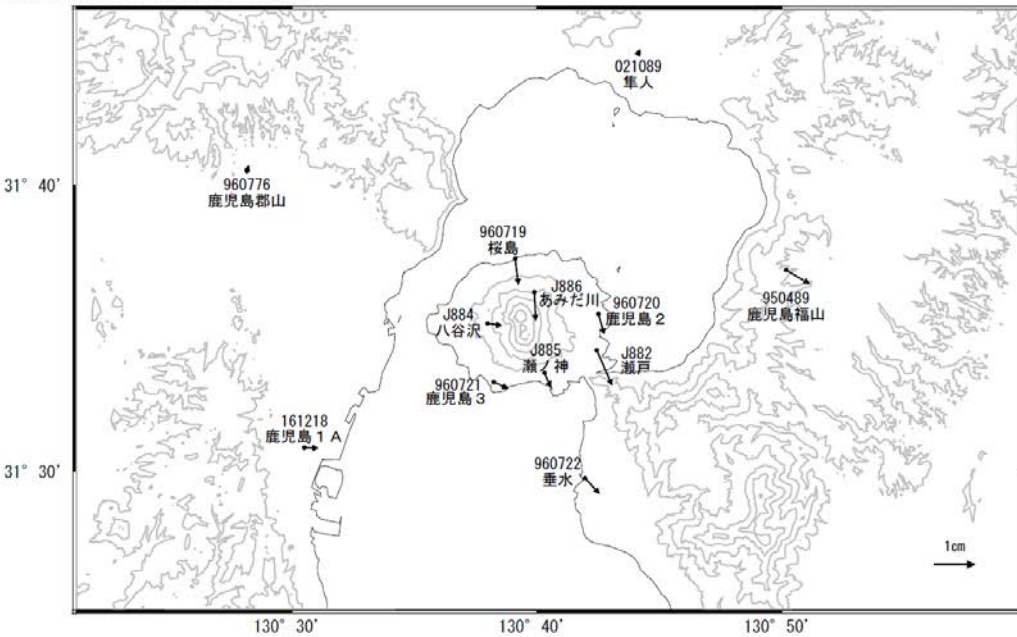


☆ 固定局:樋脇(970836)

国土地理院・気象庁

桜島周辺の地殻変動(水平:1年)

基準期間:2018/01/27~2018/02/05[F3:最終解]  
比較期間:2019/01/27~2019/02/05[R3:速報解]



☆ 固定局:樋脇(970836)

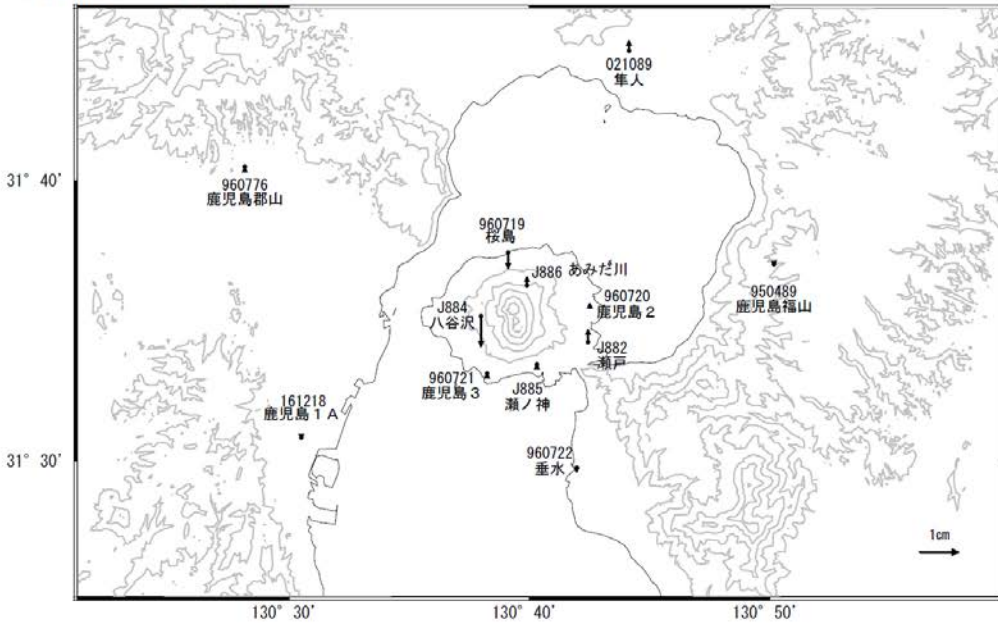
国土地理院・気象庁

第3-2図 桜島周辺の電子基準点・気象庁GNSS観測点の統合解析による水平変動ベクトル図  
(上段:2018年10月~2019年2月、下段:2018年1月~2019年2月)

Fig.3-2 Horizontal displacements of GEONET and JMA stations by combined analyzing system around Sakurajima Volcano;  
(upper) from October 2018 to February 2019, (lower) from January 2018 to February 2019.

桜島周辺の地殻変動(上下:3か月)

基準期間:2018/10/27~2018/11/05[F3:最終解]  
比較期間:2019/01/27~2019/02/05[R3:速報解]

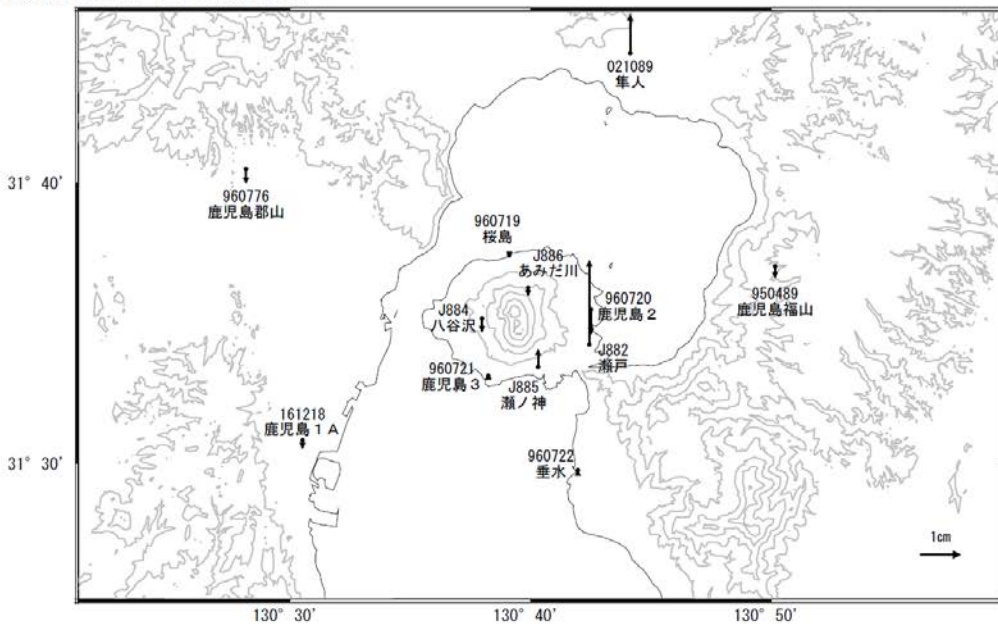


☆ 固定局:橿原(970836)

国土地理院・気象庁

桜島周辺の地殻変動(上下:1年)

基準期間:2018/01/27~2018/02/05[F3:最終解]  
比較期間:2019/01/27~2019/02/05[R3:速報解]



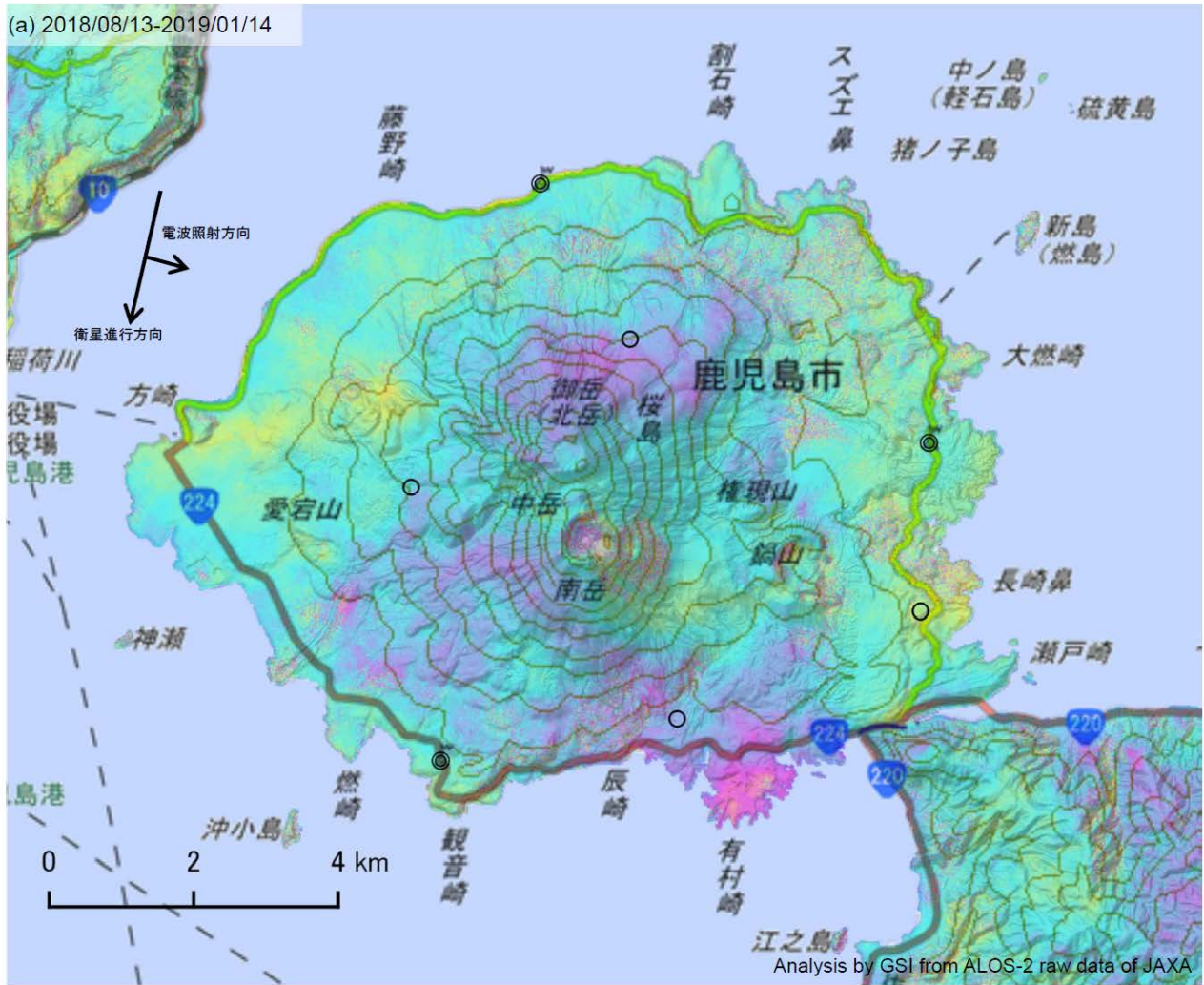
☆ 固定局:橿原(970836)

国土地理院・気象庁

第3-3図 桜島周辺の電子基準点・気象庁GNSS観測点の統合解析による上下変動ベクトル図  
(上段:2018年10月~2019年2月、下段:2018年1月~2019年2月)

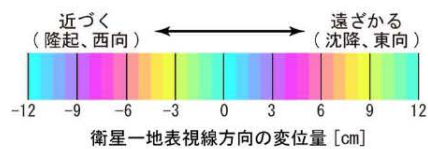
Fig.3-3 Vertical displacements of GEONET and JMA stations by combined analyzing system around Sakurajima Volcano;  
(upper) from October 2018 to February 2019, (lower) from January 2018 to February 2019.





	(a)
衛星名	ALOS-2
観測日時	2018/08/13 2019/01/14 13:07頃 (154日間)
衛星進行方向	南行
電波照射方向	左
観測モード*	U-U
入射角	52.8°
偏波	HH
垂直基線長	-38 m

\*U: 高分解能(3m)モード



- ◎ 国土地理院 GNSS 観測点
- 国土地理院以外の GNSS 観測点

背景:地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

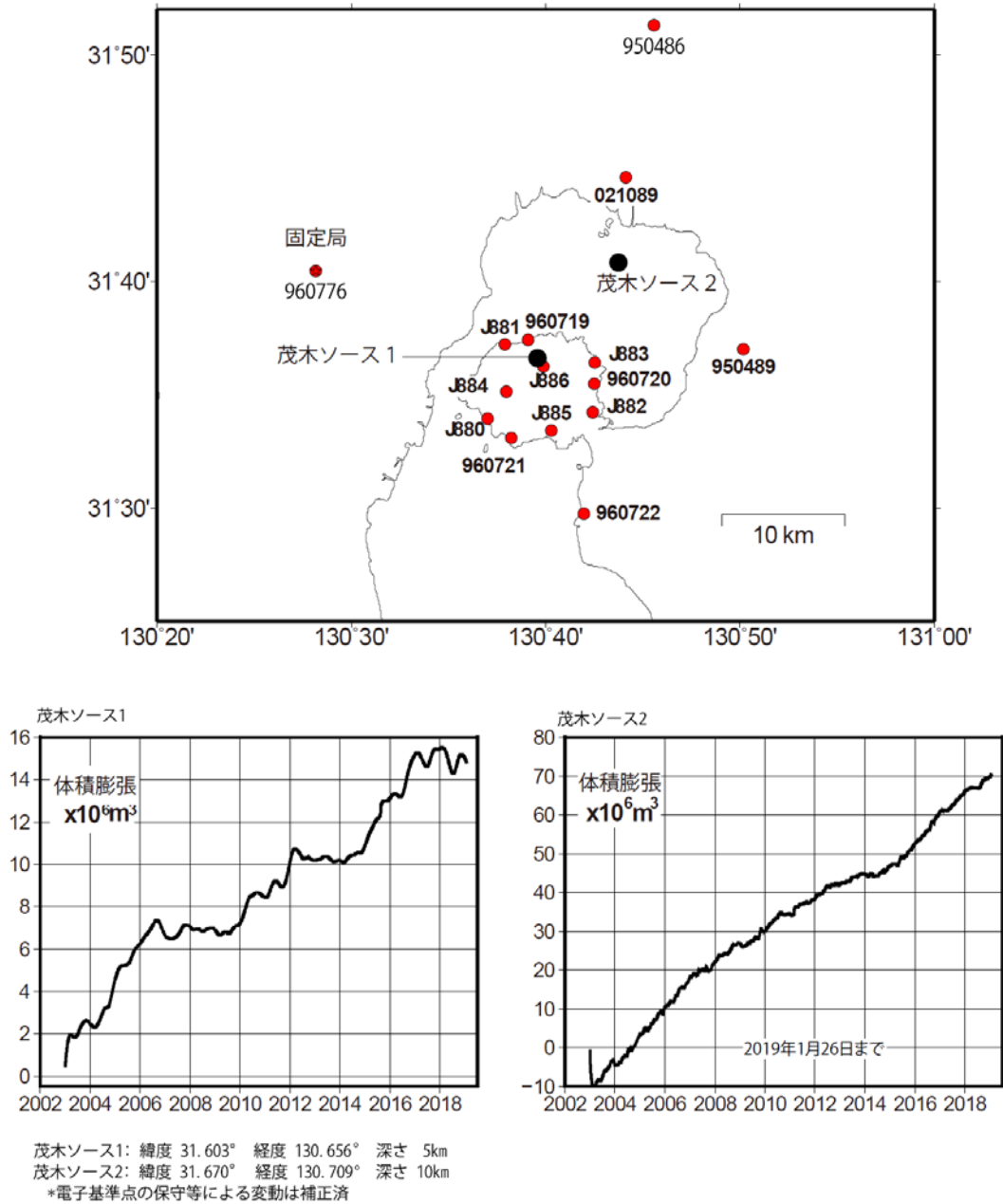
本解析で使ったデータは、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

第4図 「だいち2号」 PALSAR-2による桜島周辺地域の解析結果

Fig.4 SAR Interferograms of ALOS-2 PALSAR-2 around Sakurajima Volcano.

桜島の茂木ソースの位置と体積変化

時間依存のインバージョン解析

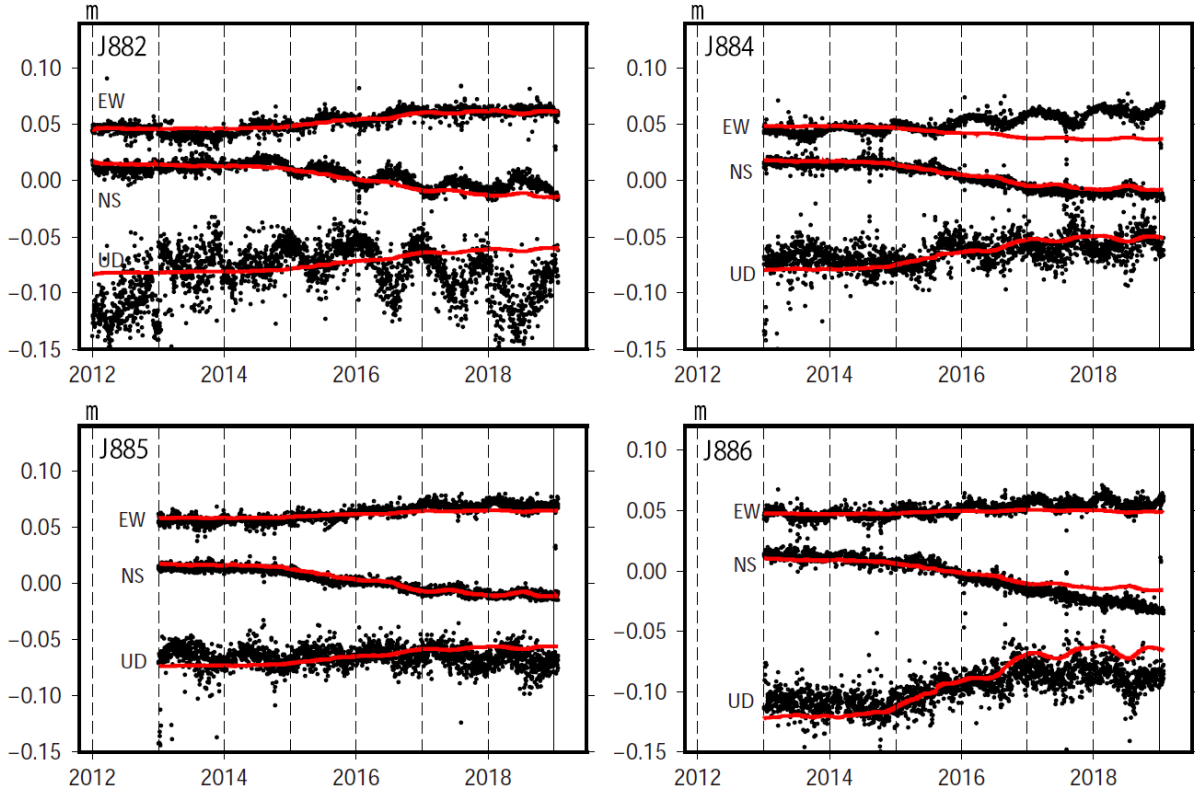


第5図 時間依存インバージョンの手法による桜島の変動源の体積変化推定・茂木ソース2つを仮定  
 (上段：推定に用いた観測点（赤点）の配置と茂木ソースの位置（黒丸）、  
 下段左、推定された茂木ソース体積の時間変化・桜島直下、  
 下段右、推定された茂木ソース体積の時間変化・始良カルデラ深部)

Fig.5 Estimation of the volume change of Mogi-source by the time dependent inversion method, assuming two Mogi sources; (upper) distribution of GNSS observation sites (red dots) used for the inversion and Mogi-sources (black circles), (lower left) Time series of estimated volume, Mogi-source under the summit of Sakurajima volcano, (lower right) Time series of estimated volume, Mogi-source under the Aira caldera

### 桜島周辺の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

#### 時間依存のインバージョン



固定局960776. EW, NS, UDは東西、南北、上下変動. 周期成分は除いている.

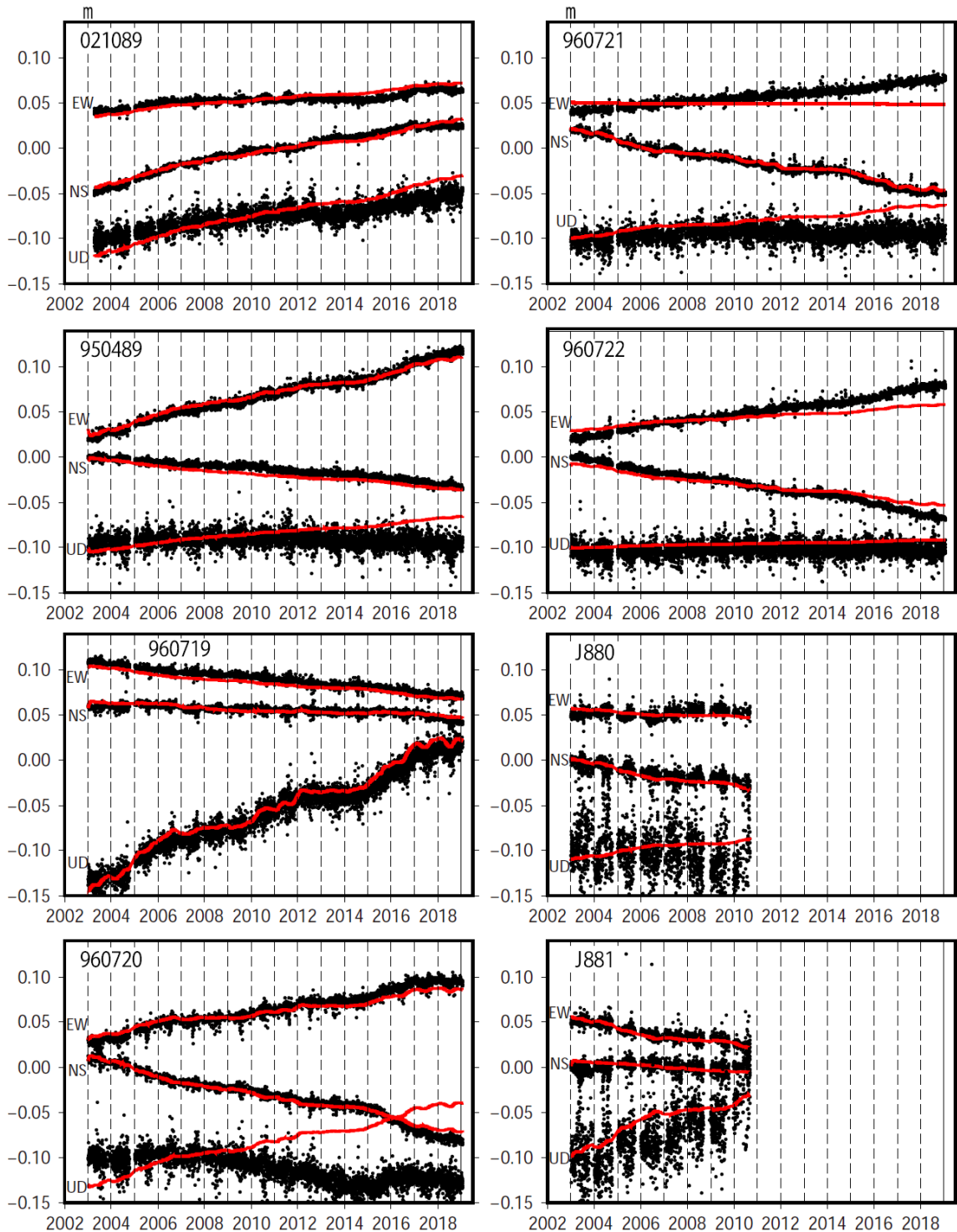
\*電子基準点の保守等による変動は補正済み

第 6-1 図 推定された茂木ソースによる地殻変動計算値(赤実線)と観測値(黒点)の比較

Fig.6-1 Comparison of calculated deformation from the estimated Mogi-source (red lines) and observed deformation (black dots).

桜島周辺の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン



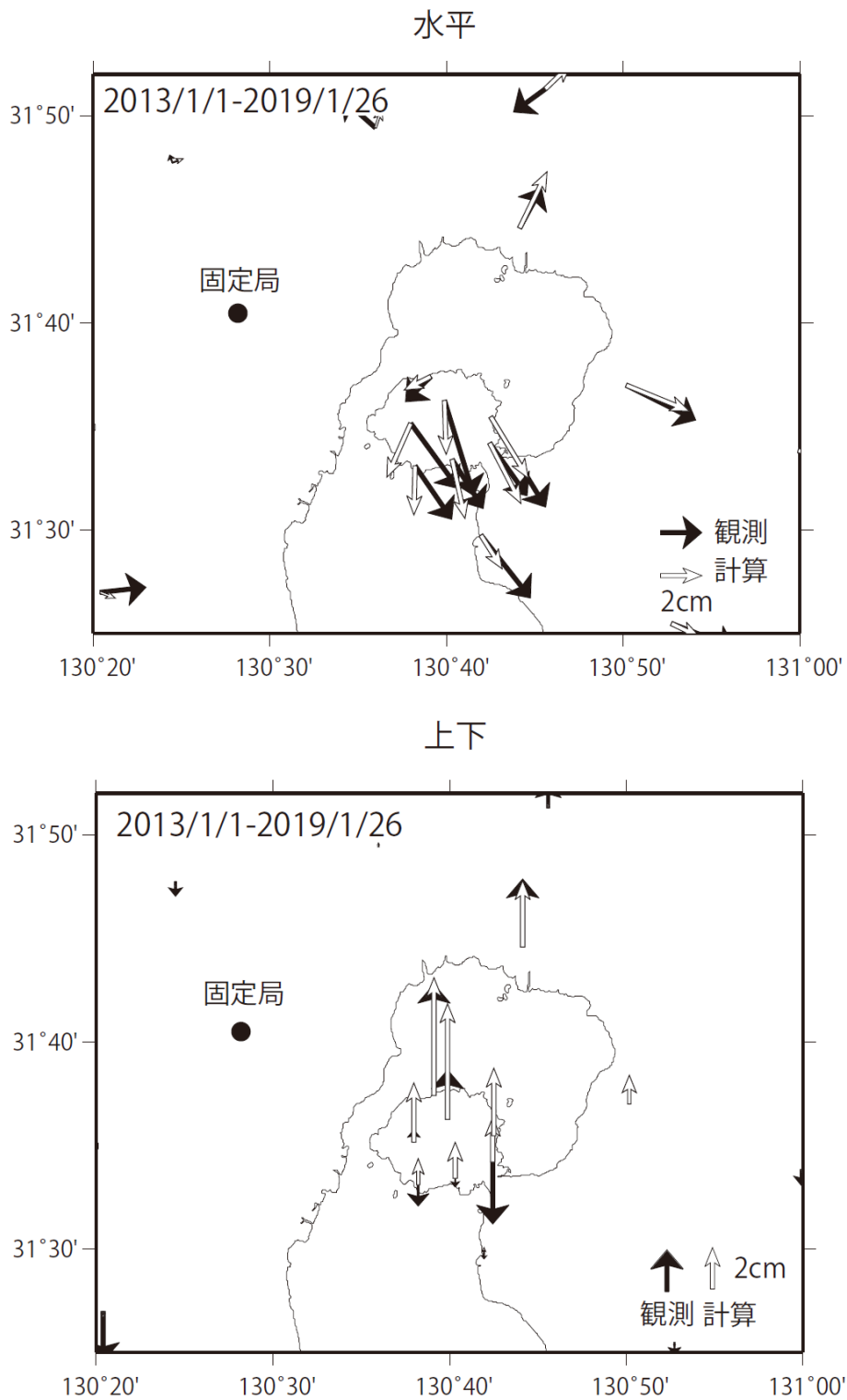
固定局960776. EW, NS, UDは東西、南北、上下変動. 周期成分は除いている.

\*電子基準点の保守等による変動は補正済み

第6-2図 推定された茂木ソースによる地殻変動計算値(赤実線)と観測値(黒点)の比較

Fig.6-2 Comparison of calculated deformation from the estimated Mogi-source (red lines) and observed deformation (black dots).

桜島の周辺の地殻変動(観測値:黒と計算値:白の比較)



第7図 推定された茂木ソースによる地殻変動計算値(白)と観測値(黒)の比較

Fig.7 Comparison of calculated deformation from the estimated Mogi-source (white) and observed deformation (black)